

水利権変更等に伴う河川水質への 影響予測結果評価（案）について

令和元年 10 月 23 日 河川環境調査委員会

中国四国農政局
四国東部農地防災事務所

— 目次 —

1. 目的	1-1
2. 水質予測の方法	2-1
2-1. 水質予測モデル	2-1
2-2. 予測対象流況年	2-10
2-3. 水質検討ケース	2-12
2-4. 流域排出負荷量	2-12
3. 現況水質再現結果	3-1
3-1. パラメーター等の設定結果	3-1
3-2. 現況再現結果	3-3
4. 水質予測検討	4-1
4-1. 水質予測条件(事業前後)	4-1
4-2. 水質予測結果(事業前後)	4-5
4-2-1. 水質予測結果の概況	4-5
4-2-2. 事業後水質の評価	4-20

1. 目的

前回の水質影響検討(H20)から10年が経過したとともに、水利権に変更が生じたことから、近年の河川流量、水質、負荷状況等を反映し、水質影響予測の更新を行った。

○H20年度検討時に対し、水質予測モデルは同じとし、予測対象流況を近10ヶ年の豊平渇流況に更新、予測負荷状況は事業完了翌年のR4を想定して、水質試験結果等より、予測モデルパラメーターの更新を行った。これらの概要を以下に示す。

表 1-1 検討条件の更新・変更点の概要

項目	更新・変更内容		備 考
	H20 年度検討	今回検討	
水質予測モデル	・ボックスモデル ・生態系モデル	同左	
予測対象流況年	H9～H18 降水量・流況から選定		・ H25: 欠測年
	平水年	H11、H12	・ 流況: 阿波中央橋
	渇水年	H17	・ 降水量: 徳島
	異常渇水年	H6	・ H6 は異常渇水年として選定
事業計画	H19 年時点最新資料	H30.3 河川協議資料に準じる	用排水系統の変更なし
流域負荷条件	H17 流域負荷	R4 流域負荷	R4: 事業完了翌年
予測モデルパラメーター	水質試験結果及び一般値を設定の上、H16, H17 で現況同定	今回試験結果に基づき一部更新の上、H19, H22 で現況同定	